

# 第13回京都BCP推進会議 結果概要

## 1 日時

令和8年2月24日(火) 10:00~11:00

## 2 場所

京都府危機管理センター災害対策本部会議室  
オンライン併用 (Zoom)

## 3 出席者

学識経験者 名古屋工業大学大学院 渡辺研司 教授 (座長)  
経済団体 京都府商工会連合会、(公社)京都工業会  
金融機関 京都信用金庫  
ライフライン機関 NTT西日本(株)、関西電力送配電(株)、大阪ガスネットワーク(株)、  
京都府営水道  
行政 京都府市長会、京都府町村会、京都市、京都府

## 4 要旨

- ・「京都BCP」に係る令和7年度の実績及び令和8年度の実行予定について報告
- ・京都府の防災に係る取組（京都府内の地震被害想定の見直し結果、第四次京都府戦略的地震防災対策指針及び同推進プランの策定、京都府業務継続計画の改訂）について報告
- ・(公社)京都工業会から、BCPの策定促進に向けた取組を報告
- ・NTT西日本(株)から、大規模災害発生時における速やかな被災地支援に向けた通信事業者間の協力体制強化に向けた取組を報告

## 5 議事及び主な意見交換内容

〈令和7年度の実績及び令和8年度の実行予定について〉

- ・平成26年度に策定した「京都BCP行動指針」の中で重要課題として挙げている、「連携型BCPの取組の推進」及び「個別BCP策定支援」の取組状況について報告
- ・府内経済団体、金融機関、ライフライン事業者との連携強化を目的とした意見交換会や図上訓練、府内企業間の交流や個別BCPの策定促進のためのセミナー、交流会、事業継続力強化支援計画の取組等について説明。【京都府】
- ・令和8年度については、ライフライン連絡会図上訓練の内容の充実や企業規模等を踏まえたBCP策定支援の充実等に取り組む方針を説明

### 【参加機関からの意見等】

- ・金融機関と連携したBCPの取組は京都独自と言える。財務省や日本銀行など関係省庁にも参画いただきたいが、あまり進んでいない状況にある。実災害時には国の行政機関との連携も必ず必要となることも踏まえ、訓練などにおいて国の行政機関への声掛けなど進めていただきたい。【渡辺座長】
- ⇒近畿総合通信局が今年度、福知山市で通信事業者と災害支援に係る通信訓練を実施しており、充実を図ろうと考えているライフライン図上訓練では、声掛けすることを検討している。その他の国の行政機関との連携についても進めていきたい。【京都府】
- ・以前は災害時の停電などで、ATMが稼働できず現金を引き出せない等の課題があったが、当金庫では、10万円まで引き出せる訓練の実施等、災害に備えた取組を行っているところ。また、金融サービスが孤立する地域が出ないようにするための、現金輸送体制の確保等も進めている。【京都信用金庫】

### 〈京都府の防災対策について〉

- ・令和7年に公表した京都府内の地震被害想定の見直し結果及び国の南海トラフ地震被害想定結果の概要について説明
- ・令和7年5月に策定した第四次京都府戦略的地震防災対策指針及び同推進プランの概要を説明
- ・京都府業務継続計画の改訂内容及び各部局別のマニュアル見直し状況を説明

### 【参加機関からの意見等】

- ・地震の被害想定については、その内容を踏まえ、企業・産業活動への影響を読み解くことが重要であり、個別企業努力で対応できる範囲を明確化し、京都府全体で対応すべき課題を検討していくところまでつなげていただきたい。【渡辺座長】

### 〈各機関の取組について〉

#### 【公益社団法人京都工業会】

- ・（公社）京都工業会から令和8年2月3日・17日に開催した「BCP・危機管理研究会」の内容について説明
- ・自然災害のほか、サイバー攻撃や経済安全保障の観点の講演を実施
- ・参加者から他社の事例や意見交換が得られたことに高評価いただき、引き続き、京都府とも連携しながら取組を継続予定である旨、報告

#### 【NTT西日本株式会社】

- ・NTT西日本（株）より、通信事業者が連携して取り組む「つなぐ×かえるプロジェクト」について説明
- ・本プロジェクトは、各通信事業者がそれぞれ行っていた災害支援を連携して行い、エリ

アや役割分担を行うことで、支援の重複や遅れを防止し、早期の復旧につなげることを目的としており、ライフライン連絡会の訓練などで実効性を高めていく。

**【関係機関からの意見】**

- ・（公社）京都工業会の取組では、サイバーの観点など、様々なインシデントレスポンスの観点が含まれており、非常に有意義と考える。その他、経済団体のメンバーへの横展開を行っていただき、連携した複数開催など取組を加速させていただきたい。【渡辺座長】

〈渡辺座長の総括〉

- ・「京都 BCP」の取組はしっかりと進んでいるものの、さらなる高度化を目指して取り組んでいただきたい。
- ・中小企業庁の BCP 促進の取組については、簡易的な事業継続力強化計画（ジギョケイ）の策定促進にシフトしてきており、連携型の作成も増えてきていることから、京都 BCP の考え方にも組み込んでいけると良いと考える。
- ・連携型の取組みとしては、長田野工業団地では連携した BCP の取組を進めていると把握しており、他県の工業団地との連携や関西広域連合との連携なども進めていただければと考える。
- ・自然災害のみならず、突然の都市機能停止への対応なども含め、オールハザードへの対応の観点にも備えていくことが必要である。